

工芸会

Vol.73

Work Center

たより

新年度を迎えるにあたり



理事長 西 憲一郎

平成三十一年度は、四月末をもって平成の時代が終わり五月から新元号の新しい時代が始まります。私ども障害者施設を運営する者にとって新しい時代の福祉政策がどのように行われていくのか大きな関心事であります。

施設福祉から地域福祉、在宅福祉へという大きな流れの中で、障害者施設は一般企業と異なり国、地方自治体からの自立支援給付費が最大の収入であり経営の基盤です。日本の景気動向や国の厳しい財政状況は、国、自治体の政策や予算に大きく影響し、それはそのまま国家予算の中で大きな割合を占める医療福祉費に影響し、私どもの支援給付費収入に影響してきます。今論議されている国の予算審議などを見ていてもその見通しは必ずしも樂觀できないように思います。

しかしながらどのような状況にあらうとも私どもは百年以上の歴史を持つ福岡ろあ福祉会の先達の崇高な精神を受け継ぎ、聴覚障害を持つ利用者の生きがいと安心、安全な暮らしを守るこの施設を維持、発展させていかなければなりません。

このようなことから、これからのろうあ福祉会の施設の在り方を探るべく、将来構想検討会を設け、検討しています。まず期待の多い特別養護老人ホームの可能性を専門家の具体案を基に検討していますが、大きな問題として福岡市の認可が果たして下りるのか、建設した場合の将来の経営収支が成り立っていくのかなどの見通しが不透明な状況にあり、さらに詳細に詰めていく必要があります。いずれにしても私ども役職員は、九州で有数の聴覚障害専門の福祉施設としてその強みを活かし、インターネット時代の中で積極的にその存在をPRし、創意工夫によって経営改善に資する施策の展開に努めていく必要があると思います。利用者の皆さんもことし一年健康に充分留意され、生産活動に積極的に取り組み、社会見学旅行などを楽しんでみんな仲良く元気に暮らしていただくことを願っています。

第 28 回工芸会ワークセンターまつり

第 28 回工芸会ワークセンターまつりを去る 12 月 2 日 (日) に開催しました。12 月に行うまつりは初めてで、お天気 (特に寒さ) が心配されましたが、晴天に恵まれ過ごしやすい天候の中、約 1200 人の方にご来場いただき大盛況の中開催できました。

本年度は各店舗で商品の売れ行きはよかったようで、工芸会生産活動で制作した商品も多く販売することが出来ました。特に、木工係による木工製品リサイクル品販売や木工自作コーナーは、予想を上回る人気となり、次回に続ける手ごたえを感じました。

イベントの方でも体育館のステージでは、ゴスペル、マジックショー、和太鼓の演奏、ダンスパフォーマンス、介助犬の実演などで盛り上がり、館内イベントでは、バルーンパフォーマンスや福岡舞鶴高校茶道部によるお茶会コーナーなど多くの方々に支えられ無事に終える事が出来ました。

ご協力頂いた皆様、ご来場頂いた皆様ありがとうございました。

工芸会ワークセンターまつり

実行委員 縫製係 係長 山口 紀之



職員研修

平成 30 年度職員研修として、福岡市立特別支援学校博多高等学園を訪問しました。博多高等学園は、企業に就職して働きたいという意欲を持つ障害のある生徒に対し、必要な知識・技能・態度を身につける事を目的とした学校で、技能習得の為、食品・接客、流通・事務、清掃・福祉、環境・園芸、と 4 つの班に分かれ販売、商品管理、接客方法までの幅広い活動が行われていました。

学校の育てたい生徒像として、反省の心、素直な心、謙虚な心、奉仕の心、感謝の心を持った人と掲げられており、実際に授業の様子を見学させて頂くと、生徒のみなさんも、とても礼儀正しく、熱心に授業に参加されている姿が印象的でした。木工製品や縫製品のクオリティの高さ、また、カフェも併設され、手作りのパンやコーヒーなども販売されていました。設備も充実し、とても魅力的で、とても素晴らしい学校だと感じました。

工芸会とは年齢や環境なども違いますが、博多高等学園を訪問させて頂き学んだことを今後の支援に活かしていければと思います。



縫製係 支援員 原田 博美

クリスマス会

年末は仕事も忙しかったので職員と自治会役員と協力して2ヶ月前から準備をしました。ダンスをしたい人を集めて練習もたくさんしました。緊張はしましたが、本番は成功したと思います。マジックハンドを使ったゲームも楽しそうでした。

原田支援員のサンタは誰も気が付かなかったので、大成功だったと思います。給食係スタッフが準備してくれた料理もとてもおいしかったです。久林さんのゲームも毎年楽しみにしているので、また来年もよろしくお願いします。僕も来年もダンスをしたいです。

準備は色々大変だったけど、みんなが楽しそうにしていたので嬉しかったです。

自治会 会長 松本 義則さん



今年のクリスマス会は12月21日に行われました。マジックハンドを使ったゲームや毎年恒例の久林さん特製クラッカーくじ。有志による「U.S.A」のダンスも大好評でした。原田支援員扮するサンタさんにプレゼントをもらい、おいしい料理を堪能し、みなさん大満足の会でした。

クリスマス会は自治会主催の行事です。自治会役員で協力して本番を迎えることができました。利用者の方も職員も楽しませてもらったので大成功だったと思います。

なごみ係 支援員 宮原 七穂

学旅行

熊本旅行

本年度は、10月4日(木)～5日(金)にかけて第1班利用者の皆さんが、熊本天草・長崎島原方面の旅行に行ってきました。私が記憶する限り平成に入り天草方面に出かけたことはなく、皆さんも初めての行先にわくわくされていました。しかし、九州西部を通るルートでの台風接近と雨の予報があり、とても不安なスタートでした。

工芸会をバスで出発後、熊本市の昼食で名物馬刺しとからし蓮根を食べた後、熊本城と城彩苑を見学。熊本駅からA列車(熊本―三角間を走るレトロ調の豪華列車)に乗車。三角駅からは、バスにて下田温泉に移動予定でしたが、いよいよ台風が翌日に天草に最接近との情報があり、2日目に予定していたイルカウォッチングを1日目に実施することになりました。

時間も夕刻に迫る頃、ようやく五和町のイルカウォッチングクルーズ乗り場に到着。3隻の漁船に分乗し出発!! 走ること15分位、船を止めプカプカ揺れながらイルカの登場を待ちます。船頭さんの話によると、イルカはその日の気分により海面に顔を出す時沈んだままの時もあり、餌付けされていないので来ないかもしれないとの事。残念な話ばかり聞きながら、すぐ船酔いをする私には酷な時間でした。が! その時イルカの大群が船の後方より現れ、皆さん大騒ぎになりイルカの泳ぐ方向へ首をキョロキョロ動かし無事にイルカウォッチングが出来ました。日も暮れ始めた頃ホテルへ向かいました。翌日も台風の影響を受けずに、無事に島原に渡り普賢岳を観光し、変わらず不気味な様子の山頂を横目に見ながら一方で新しい道路の建設されている様子を見ると、災害から27年の年月を感じるものでした。ハラハラ、ドキドキの旅行でしたが、利用者の方と共に、また思い出の1ページが出来ました。次回の旅行お楽しみに!!

サービス管理部 部長 竹下 貴



大分旅行

宮崎旅行

熊本旅行





宮崎旅行

社会見

社会見学旅行第2班が10月18日から1泊2日で宮崎方面へ行ってきました。工芸会をバスで出発し、福岡空港を離陸。機内の窓から福岡がどんどん小さくなり、心弾ませながら宮崎ブーゲンビリア空港へ降り立ちました。バスに乗り青島へ、昼食は宮崎名物チキン南蛮を戴きました。1200年以上前からある青島神社へ向かい、鬼の洗濯板も見学しました。午後からは日南海岸を南下し車窓から眼下に広がる太平洋、日南海岸随一の雄大な景観に圧倒されつつ、サンメッセ日南では、カートに乗り、モアイ像とご対面ハイ、ポーズ。また、青島に戻り温泉で疲れを癒しました。2日目は、また、日南市に向かい絶景の鶴戸神宮で願い込めた運玉に挑戦！マリレビューワなんごうに乗船し、可愛い魚や、船上でのトンビの餌付を間近に見て、大興奮でした。沢山の思い出やお土産と共に帰路に着きました。

宮崎では晴天に恵まれ、皆さんにとって、心も身体も癒され、楽しい思い出が出来た旅行だったと思います。

医務保健係 看護師 江口 奈穂美



大分旅行

平成30年11月8日～11月9日、社会見学旅行第3班、大分方面へ行ってきました。

1日目まずは、日田の押し花博物館を見学しました。館内が少し狭く皆さん移動に苦労されましたが、綺麗な状態の作品を見てほっとした表情をされていました。

続いてサントリー工場見学、試飲は無くちょっと残念でしたが、昼食の焼肉はボリューム満点で美味しかったですね。それから、バスにて湯布院まで移動し、買い物と散策を皆さん一緒に楽しみました。海外の人が多く驚きましたが無事に宿に到着。温泉を満喫して、夜は皆さんと一緒に食事とゲームを楽しみました。2日目は天候に恵まれませんでした。アフリカンサファリの動物に和まされ、安心院のワインナーセリーにて昼食買い物の後、事故もなく無事に帰ることが出来ました。

来年も皆さんと一緒に楽しむことが出来るように日々精進してまいります。

縫製係 支援員 安永 桂治



新年会

今回の年末年始休暇は最長 9 日間となりましたが、まずは、新しい年を無事に迎える事が出来たことに保護者様、関係各位の皆様にご心からお礼を申し上げます。

今年の仕事始め・新年会は 1 月 7 日 (月) に行いました。仕事始めで表彰された方は昨年素晴らしい努力をされた結果だと思います。また今年お祝いの方は縁起が良い節目の年となる事でしょう。皆さんで今年も元気に頑張ってくださいと思っています。

その後の新年会では、カズノコなどの縁起物や、具たくさん寄せ鍋には年末に皆さんでついたお餅も入り、とてもおいしかったです。食後の余興では、お馴染みのマジックハンドの掴み取りや牛乳パック早積み競争が、大盛況でした。最後は法人役員による一人勝ちのじゃんけん大会。最後まで勝ち抜いた人に今年是非あやかりたいものです。

今年もまっすぐ目標に向かって、「イノシシー」と笑いながら頑張ってください！

軽作業係 支援員 忠岡 徹



地域貢献活動についてのお知らせ

工芸会ワークセンターでは、地域との絆を大切に、地域貢献活動を積極的に行っています。体育館の無料開放・元岡小学校で開催される豊年花火大会・周船寺幼稚園手話交流会等、地域イベントにも積極的に参加させて頂いております。 ※体育館のご利用は、事前に申込書の提出が必要です。

校区紙リサイクルステーションの運用が昨年 9 月開始され半年が経過しました。少しずつ地域の方にも浸透してきており、回収量も増えてきています。校区からの要請により、リサイクルボックス内の新聞・段ボール・雑紙・アルミ缶の整理、分別作業及び管理をなごみ係の生産活動の一環として行っており、今後回収で得た収益の一部を利用者の工賃として還元していきます。不慣れな作業ですが、皆さんそれぞれに頑張っています。ぜひリサイクル品回収にご協力の程宜しくをお願いします。

回収日…毎週土・日 9:00~17:00 回収品…段ボール・雑紙・新聞・アルミ缶 (アルミ缶はつぶさずにお持ちください)



周船寺幼稚園手話交流



元岡小学校 杵整備ボランティア



焚き木の提供

苦情解決第三者委員会

平成30年度の苦情解決第三者委員会を、2月4日(月)工芸会ワークセンター多目的ホールにて開催しました。本年度も、苦情解決第三者委員の、濱地長俊委員(元・元岡校区自治協議会長)、笠魁三委員(元・玄洋公民館長)に参加をいただき、はじめに藤川法人事務局長(工芸会ワークセンター施設長)より、福祉サービスに関する苦情解決規則、苦情・要望を申し出る流れについて説明が行われ、次に工芸会ワークセンターにおける平成30年度の苦情・要望の受付形態ならびに苦情・要望の内容について説明をさせていただきました。



今年度、工芸会ワークセンターでは、利用者の皆様からの苦情受付ボックスによる苦情はありませんでしたが、毎月一回行われる施設長との懇談の日や作業場の懇談の日、毎週金曜に行われる自治会等で出された苦情や要望の主な内容について説明をさせていただきました。

工芸会では、利用者の皆様の苦情や要望を申し出る機会を多く設けております。懇談の日や自治会等で出される内容は、利用者間の生活上のトラブルに関することや、施設内の修理や改善に関すること。また、仕事や社会見学旅行の行き先等の要望など様々ですが、利用者の皆さんの意見に耳を傾け、希望や要望についてはできることは早期段階で対応し、苦情に発展しないよう日頃より努めています。

第三者委員の方々からは、「理解力に差があったり、通じにくかったりする利用者があるだろうが、きちんと支援されている印象がある。一人ひとりの特性をつかんで対応しているから重大な苦情などが出てこないのであろう。今後もよろしくお願いいたします。」等の助言をいただきました。

今後も利用者の皆様が安心・安全かつ充実した施設生活が過ごせるよう更なる福祉サービスの向上に努めてまいります。

施設長補佐 小原 勲

その他の行事の様子



餅つき会



節分の日 豆まき



障がい者週間バイキング昼食会



健康ランド体験



夜間避難訓練



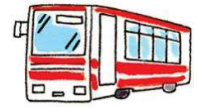
支援者向け歯磨き支援講習会



施設見学受け入れ

平成三十一年度 行事予定

- 3月
 - 総合防災訓練
 - 外食会
- 2月
 - ひなまつり
- 1月
 - 針供養
 - 節分(豆まき)
- 12月
 - 初詣 ※年末年始休暇在寮者対象
 - 新年会
 - 鏡開き
 - 夜間避難訓練
 - 夕食会
- 11月
 - 第二回健康診断
 - 夜間避難訓練
 - 夕食会
- 10月
 - 工芸会ワークセンターまつり
 - クリスマス会
 - もちつき
- 9月
 - 社会見学旅行(九月～十月)
- 8月
 - 納涼バスハイク ※お盆休暇在寮者対象
- 7月
 - 夕涼み会
 - 七夕
- 6月
 - 野外活動
- 5月
 - 工芸会ワークセンター移転開設記念行事
- 4月
 - 花見会
 - 第一回健康診断



毎月の定例行事紹介

- 自治会 (毎週)
- 誕生会 (毎月)
- 健康栄養指導 (月一回)
- 身辺支援 (週一回)
- 健康増進運動 (週二回)
- 買物支援 (月二回)
- 懇談の日 (月二回)
- 大掃除 (月二回)
- 休日支援 (年二十四回)
- 映画会
- 散策
- 散髪
- 環境美化
- クラブ活動
- 避難訓練 (年六回)
 - ・年一回、総合防災訓練
 - ・年二回、夜間避難訓練

利用者入退所等のお知らせ

入所

平成三十一年三月一日付

児玉 裕美さん

退所

平成三十一年一月三十一日付

手嶋 多美榮さん

通所終了

平成三十一年二月四日付

永田 啓明さん

表彰・感謝状受賞者紹介

福岡市長表彰

平成三十年十一月二日

施設長補佐 小原 勲
 軽作業係長 星野 俊幸

福岡市社会福祉協議会会長表彰

平成三十年十一月二日

軽作業係長 星野 俊幸

福岡市長感謝状

平成三十年十一月二日

木工係長 谷口 洋也
 給食係長 竹下 奈美

招待事業の御礼

今年度も、プロ野球観戦
 プロレス観戦等、沢山の
 ご招待を頂きました。

スポンサーの各社様
 ありがとうございます。
 ございました。

発行 社会福祉法人 福岡ろうあ福祉会
 障害者支援施設 工芸会ワークセンター
 〒819-0383

福岡市西区大字田尻 2 5 4 2 番地

TEL 092-806-7774

FAX 092-806-8962

E-mail kougeikai@kougeikai.or.jp

URL http://www.kougeikai.or.jp

